



令和3年(2021年)1月1日発行 編集・発行 文京区議会 〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21 電話(3812)7111(区役所代表) (5803)1312(区議会) 文京区議会ホームページアドレス <https://www.city.bunkyo.lg.jp/kugikai>

私たちは、いま議会改革に取り組んでいます



写真：小石川後楽園 唐門 (写真提供：東京都) 昭和20年の空襲により焼失した「唐門」が、75年ぶりに復元されました。

賀詞：海老澤敬子議長筆「希望」

令和2年度文京区一般会計 補正予算などを可決

今定例議会では、区議会議員の費用弁償の額を改定するため、全議員の提案による「文京区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」を可決しました。
また、区長提出の合計16議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。
なお、議案に対する議決結果と各会派の賛否を2面に掲載しています。

新年のご挨拶



文京区議会議長 海老澤 敬子



文京区議会副議長 岡崎 義顕

令和3年の年頭にあたり、文京区議会を代表いたしました。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より区議会の活動に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年からは猛威を振るっている、新型コロナウイルス感染症は、医療や社会経済を始め、各方面に大きな影響を与えております。

区議会は、区民の皆様が健康で安心して暮らしが維持できるよう、区長及び教育長に対し、要望書を6回提出いたしました。PCR検査体制の拡充などの感染症対策を始め、高齢者・障がい者支援の充実、子どもの健康維持や教育環境の整備、経済対策など、あらゆる分野における要望を行ったほか、迅速な対応に向け、臨時議会の開催や補正予算の審議を幾度となく行ってまいりました。

さらに、本会議における一般質問のインターネット生中継の配信も開始し、議会改革にも取り組んでまいりました。さて、昨年11月の宇宙船クルードラゴン発射にあたり、搭乗員の野口聡一宇宙飛行士が「困難な状況でも宇宙に挑戦する姿から、何かを感じてもらえれば」と話されました。

私たち文京区議会も、多くの声に耳を傾け、気概を持って困難に挑み、「希望」にあふれた、明るい未来へ向け、力強く、歩を進めてまいります。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。結びに、今年一年が、喜びにあふれる年になりますことを祈念いたします。本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

あけましておめでとう！んぱむらます

のぐち けんたろう
吉村 美紀
松平 雄一郎
宮本 伸一
宮崎 悠一
宮野 けいじ
田林 れい子
金子 てるよし
浅川 のぼる
佐藤 ごういち
山田 ひろこ

市村 やすとし
田中 香澄
西村 ゆきこ
上田 保雄
浅田 敦子
海津 なおき
万立 幹夫
関川 けさ子
田中 としかね
海老澤 敬子

名取 英一
白石 義史
岡崎 昌三
松丸 泰三
高山 一仁
山本 ひでこ
品田 和子
田中 純子
松田 久美子
国府 美千代
板倉 美千代

※氏名は、議席番号順。

11月定例議会

議会期間 11月9日から12月8日までの30日間

本会議第1日(11月9日)

*区長提出の11議案及び請願14件の審査を、それぞれ所管委員会に付託しました。

本会議第2日(11月13日)

*代表質問(永久の会、自民党・無、日本共産党)

本会議第3日(11月17日)

*代表質問(市民の広場、創自民党・無……3面掲載)

本会議第4日(11月19日)

*代表質問(日本共産党、自民党・無、創……3面掲載)

11月24日~12月7日

*特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

本会議第5日(11月30日)

*区長提出の追加3議案の審査を総務区民委員会並びに文教委員会に付託し、いずれも委員会の決定どおり可決しました。

本会議第6日(12月8日)

*議員提出の条例1件、意見書4件を可決しました。

*委員会提出の意見書1件を可決しました。

*区長提出の11議案を付託委員会の決定どおり可決しました。

*区長提出の追加2議案の審査を総務区民委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。

*教育委員会委員の任期満了に伴い、清水俊明氏(再任)を任命することに同意しました。

*識見を有する者のうちから選任する監査委員の任期満了に伴い、松本理恵子氏(再任)を選任することに同意しました。

審議した案件

区長提出案件

条例……6件(可決)

事件……9件(可決)

予算……1件(可決)

議員提出案件

条例……1件(可決)

意見書……4件(可決)

委員会提出案件

意見書……1件(可決)

請願……15件(採択2件)

15件の内訳は、今定例議会付託分14件、継続審査分1件

請願

は継続審査分(は付託委員会採択となったもの)

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について

意見書の提出に関する請願(総務区民)

(他に同趣旨の請願1件)

不採択となったもの

場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願(総務区民)

消費税率5%への引き下げを求める請願(総務区民)

種苗法改正の見直しを求める請願(総務区民)

後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める要望書提出の請願(厚生)

経営破綻による医療・介護崩壊から国民のいのちを守るため、緊急財政支援を求める請願(厚生)

(他に同趣旨の請願1件)

文京区としての総合的な「まちづくり」に資する「文京の京」まちづくり基本条例(仮称)の制定を求める請願(建設)

区の主なまちづくり関連の条例・要綱において「文京区都市マスタープラン」の趣旨に整合するよう努めることを明記することを求める請願(建設)

る請願(建設)

「中高層条例」と「ワンルームマンション条例」において、「説明会」の開催に関する規定を事業者にとって分かりやすく、区民にとって使いやすい、区にとって指導しやすくするよう改めることを求める請願(建設)

地域住民が自主的に策定した「まちづくり憲章」や「まちづくり協定」等を、区として認定・登録する仕組みを整え、区民の自発的・主体的な「まちづくり」の機運を醸成し促し後押しする仕組みを求める請願(建設)

少人数学級の実施を求める請願(文教)

継続となったもの

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願(2項)(総務区民)

グリホサート農薬の入っていない安心安全な学校給食の提供を求める請願(文教)

議員提出案件

可決した条例 1件

文京区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

可決した意見書 4件

住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書

不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

犯罪被害者支援の充実を求める意見書

性犯罪に関する刑法のさらなる改正を求める意見書

委員会提出案件

可決した意見書 1件

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

東京都知事宛て

Table with 4 columns: 会 計 別, 補正前の額, 補 正 額, 予算総額. Row: 一般会計(第4回), 142,423,557, 105,294, 142,528,851

令和2年度補正予算(単位:千円)

令和2年11月定例議会 議案に対する議決結果と各会派の賛否

Table with columns: 付託委員会, 議案番号, 件名, 結果, 賛成, 反対, 欠席. Includes sections for 区長提出議案, 議員提出議案, 委員会提出議案.

※議案番号33~43、47、48、議4~8、委1の議決における出席議員数は5名。会派の略称: 自…自由民主党・無所属 文京区議団、共…日本共産党文京区議会議員団、公…公明党文京区議団、市…市民の広場・文京、み…文京みらい、創…創[sow]、永…文京永久の会、子…ぶんきょう子育てネット

審議した主な案件(要旨)

区長提出案件

令和2年度文京区一般会計補正予算

PCR検査を実施する区内の特別養護老人ホーム等事業者及び障害福祉サービス等事業者に対する助成に要する経費、子育て支援施設及び区内保育所等におけるPCR検査の実施に要する経費、後楽公園内PCR検査センターの設置・運営に要する経費、小学校・中学校・幼稚園等におけるPCR検査の実施に要する経費等の予算を追加するものです。

インターネット議会中継生中継のご案内

文京区議会ホームページでは、本会議での一般質問の様子を公開しております。令和2年11月定例議会から、生中継でもご覧いただけるようになりました。是非ご利用ください。



インターネット議会中継画面 http://www.bunkyo-city.stream.jfit.co.jp/

令和2年度常任委員会研究会

Grid of 4 committee study sessions: 総務区民委員会 (10月22日), 建設委員会 (10月26日), 厚生委員会 (10月23日), 文教委員会 (10月16日). Each includes a photo and speaker information.

右記のQRコードから各ホームページがご覧いただけます。

●インターネット議会中継

●議案の審議結果

●請願の審議結果



代表質問



永久の会 高山 泰三

区の景気と財政見通しは

問 予算編成方針が示された8月時点と比べ、足元の社会経済見通しはかなり明るい方向で変化していると思うが、区長の景気認識と財政見通しについて改めて伺う。

区長 新型コロナウイルス感染症の社会经济活動への影響は予断を許さない状況である。今後の経済や転出入の動向は不透明で財政状況を具体的に見込むことは困難である。

文化・芸術活動の再起動を

問 「コロナ自粛」により区民がサークル活動等を控えるなど、地域コミュニティや文化が瓦解する恐れがある。今後区民の文化・芸術活動をいかに再起動するべきか、伺う。

区長 国や都の方針等に基づき、活動の発表機会等の創出に取り組んでいる。各種団体と連携して感染症対策を講じ、安全に活動できるよう努める。



レジ袋有料化の意義を問う

問 CO2排出抑制や海洋プラスチックごみの削減等を目的に開始したレジ袋有料化は、一見正しいように思えるが、その実質的な意味や波及的な

質問の掲載は、本会議での質問会派順です。

影響も含め、一度立ち止まって再考しては。見解を伺う。

区長 直接的な削減効果は大きいとは言えないが、解決に向けた第一歩として区民のライフスタイルの変革を促すきっかけになると考える。

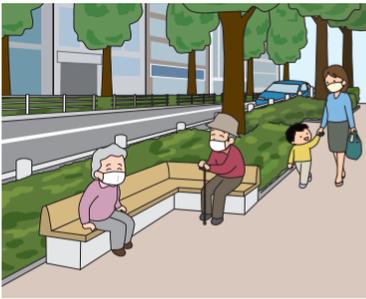


自民党・無所属 市村 やすし

高齢者に優しい道路環境を

問 高齢者や体の不自由な方が疲れたらすぐに休憩できる道路の環境整備について、区民にアイデアを募り、例えばガードレールに折り畳み椅子を設置するなどの取組を前に検討してはどうか。

区長 ガードレールの利用は安全上課題があるが、バリアフリー整備で「お休み石」等の休憩設備の設置に努めており、今後も整備を推進する。



コロナ禍での町会・自治会活動再開への支援策は

問 町会・自治会等が、感染拡大防止策を講じながら各種イベントや会合等を再開するに当たり、非接触型体温計や消毒液等を提供又は貸与することはできないか。他にも具体的な支援策はあるか、伺う。

区長 感染症予防の物資購入時に、町会・自治会事業補助金を活用するよう案内しており、非接触型体温計の貸出も検討する。新しい生活様式でも地域活動が活発に行えるよう、要望等を伺い支援を行う。



自民党・無所属 山田 ゆみこ

和敬塾との協働で高齢者の社会参画支援の取組を

問 高齢者を安心して、生きがいを持って過ごすには、高齢者が地域社会や就業の場で活躍できるよう、学びの支援や地域活動での活用を図るべきと考える。令和2年9月に締結した和敬塾との包括連携協定によって、どのような取組が期待できるか、伺う。

区長 和敬塾はOB組織の人脉やノウハウ等、様々な社会資源を持つことから、高齢者福祉・地域福祉の向上に資する取組に向けて、関係団体とも連携し協議を進める。

コロナ禍で離職した区民にも手厚い支援を

問 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて離職した区民にも、区内中小企業への支援と同様に手厚く支援すべきと考えるが、いかがか。

区長 求職者が区内中小企業で正規雇用されることを支援する、緊急就労支援事業のほか、早期の再就職に資する効果的な就労支援を実施する。



自民党・無所属 浅川 のぼる

旧元町小学校等の工事期間中の避難所確保は

問 旧元町小学校の整備と元町公園との一体的活用事業について、工事期間中の発災に気配りをするは大変であると思うが、令和6年10月に新しい施設が開設するまでの間、有事に備えた仮の避難所の準備は考えているのか、伺う。

区長 代替避難所の確保については、引き続き、近隣施設等の活用を検討していく。

B1ぐる新規路線の運行開始に遅れはないか

問 令和3年度には、本郷・湯島地区へのB1ぐる新規ルートが運行開始が予定されている。地元住民にとりて大変有益な事業であり、期待が膨らむが、コロナ禍によりスケジュールに遅れが出ているか、伺う。

区長 各関係機関との協議・調整を行っており、当初の計画どおり、令和3年度上半期の運行開始に向けて、準備を進めている。



日本共産党 小林 れい子

シビックセンター改修計画は歳入減対策で見直しを

問 総額で少なくとも200億円かかるシビックセンターとシビックホール改修基本計画は、歳入減への対策として凍結し、精査を急ぐべき。第二期の工事期間を倍の10年にすれば、年間の費用負担は半減するが、検討を求め、伺う。

区長 経費の平準化や社会情勢に配慮し、年度ごとに検討した上で工事内容を決定している。コロナ禍の影響が見通せない中で、直ちに計画期間の変更を行う考えはない。



まずは35人学級から、少人数学級の実現を

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止の上でも、教室内の密を避ける必要があり、今回の感染症対応をきっかけに少人数学級へと大きく転換していくべき。35人学級であれば普通教室への転用等で可能であることから、早急に実現すべき、伺う。

教育長 現在、国において法律の見直しを含め、検討を行っているところであり、その動向を注視していく。

私立認可保育所職員の処遇改善で質の高い保育を

問 質の高い保育を保障するためには、私立保育所職員の処遇改善が必要、見解を伺う。

区長 職員の安定した生活確保が保育の質向上につながる。国や都の補助を活用し、保育従事者の処遇改善に取り組む。



日本共産党 国府田 久美子

新たな避難先確保のため寺院とも災害協定締結を

問 避難所の3密回避のため、新たな避難先を近場で確保することが急務である。令和2

年10月に本郷旅館ホテル組合と、災害時の施設提供等に関する協定を締結したが、区内130か所以上ある寺院とも協定を締結すべき、伺う。

区長 新たな避難先確保に向け、区内の旅館やホテル、寺院等との協議を継続していく。



市民の広場 浅田 保雄

核兵器禁止条約発効をどう評価するか

問 核兵器禁止条約の批准が50か国・地域に達し、令和3年1月に発効される。文京区非核平和都市宣言にのっとり区長はこれをどう受け止め評価するか、見解を伺う。

区長 地道な取組が、国際世論の醸成に結び付いた成果であると認識している。

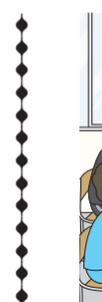
多子世帯へ給食費の助成を

問 多子世帯の学校給食費の負担は重く、支援を求める声が上がっている。経済的負担軽減のため、多子世帯保護者への給食費補助を強く要望するが、見解を伺う。

教育長 補助拡充については、社会経済の状況や他自治体の事例等を参考にし、実施に向けた検討を行っている。

問 タブレットを使ったICT教育が一層進められるが、子どもを取り残さないための教員の学習や、子どもと保護者の不安を取り除くケアができるような学校教育の在り方について、方向性を伺う。

区長 高齢者あしん相談センターにおいて、経済的問題に関する普及啓発や各種相談等を行っている。今後も関係機関との連携を一層深め、課



創 宮崎 たかひろ

新型コロナ対策の分析評価と第3波への備えは

問 これまでの新型コロナウィルス感染症予防対策、PCR検査体制等の取組をどのように分析評価しているか。さらに、第3波が心配される冬に向けた取組に、それをどう生かしていくのか、伺う。

区長 PCR検査センターの設置等、様々な対策に取り組んでおり、感染拡大防止に寄与した。今後も、高齢者のインフルエンザ等予防接種の無償化等、医療体制の確保に努める。

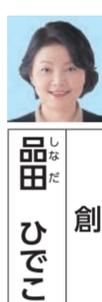
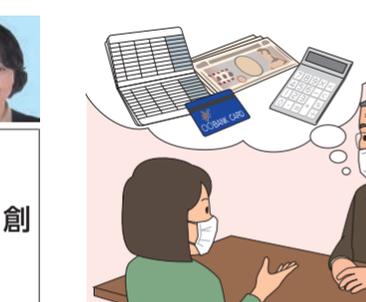
高齢者の経済的問題について相談体制の構築を

問 超高齢社会が加速する中で、高齢者が抱える深刻な経済的問題について、ワンストップで相談できる窓口を設置するなど、高齢者がいつでも安心して相談できる体制の構築が重要と考えるが、区の方針を伺う。

区長 高齢者あしん相談センターにおいて、経済的問題に関する普及啓発や各種相談等を行っている。今後も関係機関との連携を一層深め、課

問 区民の負担軽減の観点から、区役所の手続きは、印鑑使用の原則廃止を表明すべき。またコロナ期だからこそ「デジタル化」を加速させ電子申請の件数を速やかに増やすことが急務、決意と見解を伺う。

区長 法令の定めのない文書の押印は、原則廃止に向けて着手、早期に実現する。電子申請は約2万3千件、今後もコロナ禍を変革の機会と捉え行政のデジタル化を推進する。



創 山田 ゆみこ

路上カフェやテラス席で飲食店のインベージョンを

問 コロナ禍、飲食店の売上げ回復のため、保健所や警察の許可等規制を緩和して、道路占用や公園の利用拡大で「路上カフェ・レストラン、テラス席」を容認していく姿勢を示すべき。また区道に「キッチンカー」を公園等に「ワゴン」販売の規制緩和と街に賑わいを創る案を提案する。

区長 国道、都道、区道の専用許可基準を一時的に緩和している。キッチンカーは法令、利用状況等を踏まえ関係機関と協議し適切に支援する。

区役所の手続きはハンコ廃止とデジタル化を

問 区民の負担軽減の観点から、区役所の手続きは、印鑑使用の原則廃止を表明すべき。またコロナ期だからこそ「デジタル化」を加速させ電子申請の件数を速やかに増やすことが急務、決意と見解を伺う。

区長 法令の定めのない文書の押印は、原則廃止に向けて着手、早期に実現する。電子申請は約2万3千件、今後もコロナ禍を変革の機会と捉え行政のデジタル化を推進する。

問 区民の負担軽減の観点から、区役所の手続きは、印鑑使用の原則廃止を表明すべき。またコロナ期だからこそ「デジタル化」を加速させ電子申請の件数を速やかに増やすことが急務、決意と見解を伺う。

委員会活動

常任委員会

総務区民

11月30日 報告事項1件
12月4日・7日 報告事項7件
12月8日

厚生

12月1日 報告事項3件
報告に対する主な意見等

建設

12月3日 報告事項2件
報告に対する主な意見等

文教

11月30日
12月2日 報告事項7件
報告に対する主な意見等

●は、審査の過程で出された主な意見・要望です。

ローが必要となる。文京総合福祉センターを利用する医療的ケア児の送迎については、来年度以降支援できるように検討していくこと。

●公募型プロポーザル方式により事業者選定を行った「旧元町小学校の整備と元町公園との一体的活用事業」について、本年締結した基本協定に基づき、事業実施に向けた計画を作成した。

今後、施設整備を進めるに当たっては、防災備蓄倉庫の機能充実、障害のある方への配慮、コワーキングスペースを活用した働く女性への支援、園庭の区民への開放等を検討しながら、事業者との協議を進めること。



●コミュニティバス第三路線の計画概要とスケジュールが報告された。

住民説明会や関係機関との調整等、準備を進める中で、丁寧な地域の声を聴き、区民の希望に沿った、納得の得られる路線とすること。

また、交通系アプリ等のICTを活用し、他の交通機関との有機的な連携を検討すること。さらに、乗り継ぎ停留所や起終点の場所を工夫するなど、区民の利便性向上を図る。

千駄木・向丘地区についても同様に整備を行うために、防災性の向上を図る取組を推進すること。

●区立中学校の学校選択制度については、導入されてから十年以上が経過し、各校において特色ある教育が進められてきた一方で、一部の学校に入学希望者が集中する傾向が続いているなど、解決すべき課題もある。

希望者調査の結果や傾向等に表われている本区の特徴を踏まえた上で、学校選択制度の今後の方向性について、様々な角度から評価・検証を行っていくこと。

●区立図書館システムの更新
11月9日・30日、12月8日に開催しました。

●新たな地域福祉保健計画の中間のまとめに関連して、文京区版ひきこもり総合対策については、当事者やその家族が孤立せず、社会とのつながりを持つよう支援を行うことが重要である。文京区ひきこもり支援センターを中心として地域の関係機関の連携強化や、研修により支援者のスキルアップを図るなど、相談支援体制を強化していくこと。

●新たな地域福祉保健計画の中間のまとめにおける障害者・児計画に関連して、医療的ケア児が通所施設を利用するに当たっては、きめ細かなフォローが必要となる。文京総合福祉センターを利用する医療的ケア児の送迎については、来年度以降支援できるように検討していくこと。

●文京区都市計画審議会の結果概要報告に関連して、千駄木・向丘地区と大塚五・六丁目地区が防災再開発促進地区となっている。大塚五・六丁目地区は、木造住宅密集地域における建て替えや補強を促す耐震改修促進事業を活用し、防災に強いまちづくりに向けた整備が進んでいる。

●区内店舗宅配支援事業をはじめとする新型コロナウイルス対策事業の実施結果が報告された。

●区内店舗宅配支援事業をはじめとする新型コロナウイルス対策事業の実施結果が報告された。